



園だより[11月]



(ふじみこども園 HP)

令和7年10月31日

千代田区立ふじみこども園

「15周年のお祝いが園全体に広がった運動会」

幼児部副園長 幸田育子

秋の風が心地よく感じられる季節となりました。先日4, 5歳の運動会「15周年おめでとうパーティー」を行いました。保護者の皆さんには、温かいご支援とご協力をいただき心より感謝申し上げます。子どもたち一人一人が元気いっぱい笑顔で各演技・競技に取り組む姿は私たち大人に大きな感動と喜びを与えてくれました。今年は15周年のお祝いがテーマだったこともあり、和やかな雰囲気で進行し、プログラムが終わるごとに大きなケーキにローソクが燈りました。そして、最後のお祝いの会では15本のローソクが揃い、みんなでお祝いの歌を歌い、ローソクの火を吹き消し、会場が暗くなると子どもたちから歓声が上がって、会場が一つになりました。

次の週、テラスから音楽が聞こえてくるので、覗いてみると、5歳児の子どもたちがチアダンスの先生になり、5歳児の前には♪フレッフレッふじみ♪と乳児や、3, 4歳児がポンポンを持ってチアダンスを踊っていました。その姿を見てとても微笑ましく感じました。そして、5歳児の表情がとても誇らしげだったことにまたひとつ成長を感じました。ほかにも、4, 5歳児の運動会に刺激を受けた3歳児が、園庭でかけっこをしたり、遊戯室では5歳児の親子競技のイチゴ運びを真似して、乳児部の子どもたちが手でイチゴを運び、次の友達にイチゴを渡したり、口に入れようしたり…、それぞれの年齢の楽しみ方で遊んでいました。今回は4, 5歳児の運動会でしたが、そこからこども園の子どもたちに広がり、15周年のお祝いをみんなで楽しめた運動会だったのだとうれしくなりました。

次は3歳児のスポーツデーです。4, 5歳児の運動会からたくさんの刺激をもらった子どもたちが伸び伸びと保護者の方と一緒に楽しめるよう準備を進めて参りたいと思います。

《11月のねらい》

0歳児 はいはい組	○指差しやしぐさで自分の気持ちを表し、保育者に応答してもらううれしさを感じる。 ○わらべうたや歌を聴いて、体を揺らしたり保育者のしぐさを真似たりして楽しむ。	
1歳児 とことこ組	○戸外で遊んだ後や食事前後の手洗いを保育者と一緒にして、清潔に過ごすことの心地よさを感じる。 ○保育者や友達と一緒に季節の絵本や歌、手遊びに親しんだり、音楽に合わせてドングリを入れたマラカスを振ったりして楽しむ。	
2歳児 すくすく組	○寒さに気付き、保育者と一緒に衣服を着替えようとする。 ○ドングリや落ち葉などの色や形に興味をもったり、それらに触れたりしながら散歩や戸外遊びを楽しむ。	
3歳児 ぼうけん組	短時間 保育	○遊びの中で好きなものになりきったり見立てたりして、思いを表しながら遊ぶ楽しさを感じる。 ○秋の自然物の形や色・量等に気付き、言葉にして保育者や友達に伝えたり、自然物を遊びの中に取り入れたりして遊ぶ楽しさを感じる。 ○秋にちなんだ歌を歌ったり楽器に触れて音を楽しんだりし、表現する楽しさを味わう。
	長時間 保育	○友達や保育者との関わりを通して、自分の思いや考えを言葉で伝え、気の合う友達とじっくり遊ぶことを楽しむ。 ○食器の下膳や着替えた洋服をたたむ等、自分で出来ることを行い、達成感を味わう。
4歳児 わんぱく組	短時間 保育	○自分のイメージした物や場を作って遊ぶことを楽しんだり、遊びの中で思いを友達に伝えたり、友達の言葉も聞いたりする。 ○タンバリンやカスタネット等の楽器を曲に合わせて鳴らしたり、お話の登場人物になりきって遊んだりする等の表現活動を楽しむ。 ○季節による自然の変化に気付き、ドングリ転がしのコース作りや落ち葉を使った製作等、自然物を遊びに取り入れたり、様々な材料と組み合わせたりする。
	長時間 保育	○友達と一緒に遊びの場や遊びに使う物を用意したり、イメージを出し合って作ったりする。 ○秋ならではの自然物を見付け、製作活動やごっこ遊びの中に取り入れたりしながら、季節感を味わう。
5歳児 ふあいと組	短時間 保育	○自分の思いや考えを相手に分かるように伝えたり、相手の考えを聞いて受け入れたり折り合いをつけたりして、共通の目的に向かって友達と一緒に遊びを進める楽しさを味わう。 ○「こども会」に向けての活動に取り組む中で、曲やリズムに合わせて楽器の鳴らし方を工夫したり、自分たちで考えたお話や動きを表現したりすることを楽しむ。 ○秋から冬への季節の移り変わりを感じ、木の実でリースを飾ったり小枝のオーナメントを作ったりする中で、自分の考えで材料や作り方を選んだり、友達の考えや作品を刺激にしたりする。
	長時間 保育	○友達と思いやイメージを伝え合いながら、共通の目的に向かって、工夫したり考えたりして、自分たちで遊びを進める楽しさを味わう。 ○サッカーやドッジボールなど全身を使ってボール遊びや鬼ごっこを友達と一緒に楽しむ中で、ルールや遊び方を確かめ合ったり、考えたりしながら遊ぶ。
預かり保育りす組	○自分のしたい遊びを繰り返したり、友達や異年齢児の遊びに興味をもってやってみたりして楽しさを感じる。 ○戸外で秋の季節を感じながら、落ち葉を拾ったりそれを使って遊んだり、体を動かしたりして遊ぶ。	

★CES 掲示板★

10月の目標 ○「給食を美味しくなんでも食べよう」 ○「食品ロス月間」

この目標に向けた園の取組の様子をお知らせします。



季節の野菜のサツマイモや果物のカキに気が付き、言葉にして友達や先生に伝えながら食べてきました。保育室にある食べ物が載っている絵本を見ながら、「これはなに?」と食べ物に興味津々です。

一緒に食べている友達が、野菜などを食べている姿を見て、自分も食べてみようとする姿があります。苦手なものも少しずつ食べてみようとし、食べられる食材が増えてきました。食べ終えると、「ぴっかりーん」と嬉しそうです。

11月の重点目標

○資源や物を大切にする(資源循環型社会、リデュース・リユース・リサイクル・リニューアブル)

11月は資源を大切にすることがねらいです。

今回は、2022年4月に成立した、プラスチック新法(正式名称「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」)についてお知らせします。

日本国内で扱われるプラスチック製品の設計・製造・使用・再利用といった全プロセスで、資源が無駄にならず、循環する状態を目指すことを目的とした法律です。

そのための基盤となる考え方が「3R+Renewable」です。

3Rは Reduce…ものを大切に扱い、ごみの発生量を減らそうという考え方

Reuse…ものを簡単に捨てず、繰り返し使うという考え方

Recycle…廃棄物などを資源として再利用しようという考え方

これに、「Renewable…容器や包装、製品の原料として使用されるプラスチックを再生可能な資源(再生木材、紙など)に切り替えていく」いう考え方が加っています。

私たち消費者が大切なこととして示されているのは、

「えらんで」…エコなプラスチック製品をえらぼう

「減らして」…使い捨てプラスチックのごみを減らそう

「リサイクル」…プラスチック製品は分別してリサイクルに協力しよう



【参考】プラスチックに係る資源循環の資源循環の促進等に関する法律(プラスチック新法)の普及啓発ページ／環境のミカタ株式会社コラム

【園で取り組みたいこと】

製作で使う紙の切れ端を大切に使ったり、空き容器や空き箱を遊びに再利用したり、使わない部屋の電気を消したりなど、取り組めることを考えて子どもたちと取り組んでいきたいです。「もったいない」に繋がる考えが、エコ社会に繋がっていきます。

ご家庭でも取り組んでいることがありましたら、是非教えてください。